

## 沿 革

御坊広域清掃センターは、昭和55年より構成団体（現在の御坊市、美浜町、日高町、由良町、印南町、日高川町）から排出される一般廃棄物の共同処理に取り組み、現在の施設においては平成10年に稼働を始めましたが、施設の老朽化が進行し、将来にわたっての運転継続が課題となっていたため、令和2年度から令和5年度にかけて基幹的設備改良工事を行いました。本工事により、処理能力の復元と延命化を図るとともに、二酸化炭素排出量の削減により、地球温暖化防止に寄与する施設となりました。

本施設のごみ処理方式はコンピュータ制御による流動床炉で、日量147tのごみを焼却できます。公害防止面においては、排ガス、飛灰、焼却残渣等の分析を行っており、規制値をクリアすることはもちろん、より低い排出量となるよう、細心の注意を払い運転管理を行っています。

また、基幹的設備改良工事と併行して、御坊広域清掃センター旧施設を解体し、跡地に新たに廃プラスチックストックヤード施設を建設するマテリアルリサイクル推進施設整備工事を行い、令和4年12月に竣工しました。廃プラスチックストックヤード施設は、廃プラスチックの中からリサイクル可能なものを破袋・選別・破碎し、圧縮梱包を行い、製紙工場のボイラー燃料としてリサイクルを行う廃プラスチック処理施設として令和5年1月より稼働しています。

年	沿 革
昭和45年	御坊周辺広域市町村圏組合設立
55年	御坊広域清掃センター（ごみ処理施設）竣工
平成 2年	御坊広域清掃センター一般廃棄物最終処分場浸出水処理施設竣工
10年	御坊広域清掃センター竣工
12年	御坊広域清掃センターストックヤード施設（ペットボトル粉碎処理施設）竣工
17年	御坊広域清掃センター廃プラスチック処理施設竣工 組合名称を御坊広域行政事務組合に変更
26年	御坊広域清掃センター廃プラスチック処理施設改修
令和 4年	御坊広域清掃センター廃プラスチックストックヤード施設竣工
6年	御坊広域清掃センター（基幹的設備改良工事）竣工